ホームページ掲載ファイル一覧

**「ライフマネジメントに関する高齢者の意識調査」（２０２１年６月発行）**

## 第I章　健康状態

１． 健康状態

(1) 主観的健康観 1-1

(2) 客観的健康状態

①バスや電車を使って一人で外出できるか 1-2

②日用品の買い物ができるか 1-3

③お湯がわかせるか 1-4

④請求書の支払いができるか 1-5

⑤預貯金の出し入れができるか 1-6

⑥年金等の書類が書けるか 1-7

⑦新聞を読んでいるか 1-8

⑧本や雑誌を読んでいるか 1-9

⑨健康に関する記事・番組に興味があるか 1-10

⑩友達の家を訪ねることがあるか 1-11

⑪家族や友達の相談にのることがあるか 1-12

⑫病人を見舞うことができるか 1-13

⑬若い人に自分から話しかけることがあるか 1-14

⑭一人で電話をかけられるか 1-15

⑮一人で薬を服用できるか 1-16

⑯客観的健康状態（合成変数）1-17

２． 1日の歩行量 1-18

３． 車の運転

(1) 運転習慣・頻度 1-19

(2) 運転しない理由 1-20

(3) 免許証の返納意向 1-21

## 第II章　性格特性・生活行動・リスク意識・金融保険リテラシー

１． 自身の性格特性・生活行動

(1) 自身の性格特性

①活発で外交的 2-1

②他人に不満をもち、もめ事を起こしやすい 2-2

③しっかりしていて、自分に厳しい 2-3

④心配性でうろたえやすい 2-4

⑤新しいことが好きで、変わった考えをもつ 2-5

⑥ひかえめで、おとなしい 2-6

⑦人に気をつかう、やさしい人間 2-7

⑧だらしなく、うっかりしている 2-8

⑨冷静で、気分が安定している 2-9

⑩発想力に欠けた、平凡な人間 2-10

(2) 過去の生活行動（夏休みの宿題の実施時期）2-11

２． リスク意識

(1) 時間割引率 2-12

(2) リスク回避性 2-13

(3) 損失回避性 2-14

(4) リスク意識 2-15

３． 金融・保険リテラシー

(1) 金融・保険に関する知識への自信 2-16

(2) 利息計算

①利息計算１ 2-17

②利息計算２ 2-18

(3) 金融・保険に関する知識量

①定期保険と満期保険金 2-19

②株式分散投資 2-20

③収益と安全性の関係 2-21

④男女別保険料率2-22

⑤固定金利か変動金利か（金利低下時）2-23

⑥物価と金利 2-24

⑦金融・保険に関する知識量（３区分）2-25

４． 特殊詐欺への対応

(1) 特殊詐欺の経験 2-26

(2) 電話がかかった時の対応 2-27

(3) 特殊詐欺被害を防ぐための行動 2-28

## 第III章　家族・人とのつながり

１． 未既婚 3-1

２． 家族とのつながり

(1) 家族形態

①同居家族3-2

②家族形態3-3

(2) 家族および付き合いのある親族

① 家族および付き合いのある親族 3-4

② 同居家族以外の家族および付き合いのある親族 3-5

(3) 社会貢献活動の実施状況と実施意向 3-6

(4) 相続・財産管理

① 相続準備の有無 3-7

② 判断能力低下時への準備の有無 3-8

③ 判断能力低下時の相談相手 3-9

④ 判断能力低下時の金融資産の取扱い方 3-10

## 第IV章　就労

１． 現在の就労形態

(1) 本人の現在の就労形態 4-1

(2) 現在就労している者の退職・引退予定年齢 4-2

(3) 退職金見込額 4-3

(4) 無職者の就業意向 4-4

２． 退職者の過去の主たる職業

(1) 退職者本人の過去の主たる職業 4-5

(2) 退職者の退職・引退年齢 4-6

## 第V章　家計

１． 収入

(1) 昨年1年間の収入 5-1

(2) 公的年金収入

① 公的年金収入年額 5-2

② 年収に占める公的年金収入の割合 5-3

(3) 就労収入

① 就労収入年額 5-4

② 年収に占める就労収入の割合 5-5

２． 支出

(1) 夫婦の生活費月額 5-6

(2) 医療・介護費用月額

① 医療・介護費用月額 5-7

② 生活費に占める医療・介護費用の割合 5-8

３． 保有金融資産

(1) 世帯保有金融資産額 5-9

(2) 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）5-10

## 第VI章　生活保障意識

１． 老後保障

(1) 老後資産形成

① 老後資産に係る不安 6-1

② 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか 6-2

③ 老後資産形成の私的準備状況 6-3

(2) 公的年金

① 公的年金制度の特徴 6-4

② 公的年金受給開始年齢についての認知 6-5

③ 公的年金受給の有無 6-6

④ 受給開始年齢を遅らせる場合の基準 6-7

２． 医療保障

(1) 自分の病気・ケガに係る経済的不安 6-8

(2) 医療保障の私的準備状況 6-9

３． 介護保障

(1) 自分の介護

① 自分の介護の有無 6-10

② 自分が要介護状態になることへの経済的不安 6-11

③ 自分の介護保障の私的準備状況 6-12

④ 介護スタッフに対する意向

ア）日本人スタッフから受ける介護サービス 6-13

イ）外国人スタッフから受ける介護サービス 6-14

(2) 親の介護

① 親の介護の有無 6-15

② 親が要介護状態になることへの経済的不安 6-16

③ 親の介護保障の私的準備状況 6-17

４． 遺族保障

(1) 自分が万一の際の経済的不安 6-18

(2) 遺族保障の私的準備状況 6-19

５． しておけばよかったと思う保障準備 6-20

## 第VII章　長寿社会に対する意識

１． 何歳まで生きたいと思うか 7-1

２． 長寿社会への不安感 7-2

３． 長寿社会において最も不安なこと 7-3

## 回答世帯の基本属性

（１）高齢者調査

①性別 8-1

②本人年齢 8-2

③本人職業（現在）8-3

④本人年収 8-4

⑤未既婚 8-5

⑥配偶者年齢 8-6

⑦配偶者職業（現在）8-7

⑧配偶者年収 8-8

⑨家族形態 8-9

⑩本人または夫婦年収（世帯年収）8-10

⑪世帯保有金融資産額 8-11

⑫住居形態 8-12

⑬市郡規模別 8-13

⑭地域ブロック別 8-14

（２）中年層調査

①性別 8-15

②本人年齢 8-16

③本人職業 8-17

④本人年収 8-18

⑤未既婚 8-19

⑥家族形態 8-20

⑦就労収入年額 8-21

⑧世帯保有金融資産額 8-22

⑨住居形態 8-23